

2023年12月期第2四半期決算参考資料

2023年8月10日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード: 9656)

<https://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2023年12月期第2四半期連結決算(累計).....	3
2. 2023年12月期通期連結業績予想.....	6
3. 業績推移.....	7
4. 2023年12月期第2四半期末配当の件.....	8
5. 下期の具体的取組.....	9

1. 2023年12月期第2四半期連結決算(累計)

① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2023年	2022年	増減	増減率(%)
売上高	2,970	2,538	432	17.0%
売上総利益	698	554	143	25.9%
営業利益	392	271	121	44.8%
経常利益	401	324	77	24.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	307	228	78	34.5%

当第2四半期連結累計期間におきましては、これまで猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症について、流行開始から約3年間を経て、ようやく収束の様相を呈したことで、次第にレジャーモードが高まり、各施設の客足にも復調が見られることとなりました。また、九州では、書き入れ時であるゴールデンウィークにおいて、雨天による集客の伸び悩みはありましたものの、春休みを中心に全国旅行支援事業の後押し効果もあり、遊園地ならびにホテルの利用者数は増加いたしました。

② セグメント別売上高・損益

第2四半期連結累計期間	売上高			セグメント損益		
	2023年	2022年	増減	2023年	2022年	増減
遊園地	1,408	1,192	216	424	360	63
ゴルフ	521	523	△2	53	72	△18
ホテル	805	563	242	19	△93	112
不動産	81	84	△3	52	54	△1
土木・建設資材	154	175	△21	25	43	△17
消去又は全社	—	—	—	△182	△165	△17
合計	2,970	2,538	432	392	271	121

【遊園地】

売上高: 九州の遊園地は、春のイベントとして、フロアイベントやオリジナルショー、当園史上最大級となる花火の打上げのほか、ゴールデンウィークには大集合イベントなど話題性のあるイベントを開催しました。

また、新たな飲食テナントの園内への出店やアトラクション・飲食店舗の改修など施設の魅力拡充に取り組むとともに、利用料金の改定による収益基盤の強化を図りました。

北海道の遊園地も、春の遊園地オープンより、話題性の高いキャラクターショーのほか、ご当地アイドルフェスティバルなど、バラエティに富んだイベント開催で集客を図りました。

この結果、売上高は216百万円の増収となりました。

セグメント損益: 売上高の増加に伴い、セグメント損益は63百万円の増益となりました。

【ゴルフ】

売上高: 施設の拡充を行うとともに、コース改良ならびにコース整備にも鋭意取り組み、新型コロナウイルス感染症の収束とともに、韓国からのゴルファー客のご利用に大きな回復傾向が見られましたが、売上高は2百万円の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少及び売上原価の増加に伴い、セグメント損益は18百万円の減益となりました。

② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）



【ホテル】

売上高: 九州のホテルは、宿泊部門では遊園地やゴルフ場のご利用客の利用拡大を図るとともに、料飲・宴会部門ではメニュー等の拡充やPRを強化し、利用者数の回復傾向が見られました。その他、システム等のIT化による業務の効率化やきめ細やかなサービスの提供による顧客満足度向上を図りました。

北海道のホテルは、宿泊部門ではビジネス客のほか、遊園地やスキー場、ゴルフ場のご利用客の取り込みを強化し、料飲部門では魅力あるメニュー展開により利用拡大を図りました。

この結果、売上高は242百万円の増収となりました。

セグメント損益: 売上高の増加に伴い、セグメント損益は112百万円の増益となりました。

【不動産】

売上高: 前年4月に一部テナントに係る土地賃貸借契約が終了したことに伴い、売上高は3百万円の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少に伴い、セグメント損益は1百万円の減益となりました。

【土木・建設資材】

売上高: バイオマス火力発電所への燃料投入業務は堅調に推移いたしましたものの、ポゾテックやコールサンド等の建設資材販売のほか、土木工事受注が伸び悩んだことで、売上高は21百万円の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少に伴い、セグメント損益は17百万円の減益となりました。

2. 2023年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2023年予想	2022年実績	増減	増減率
売上高	5,800	5,732	68	1.2%
営業利益	530	763	△233	△30.6%
経常利益	520	820	△300	△36.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	420	428	△8	△2.0%

※ 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

3. 業績推移



① 通期

(単位:百万円)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 予想
売上高	8,359	4,616	5,754	5,732	5,800
売上総利益	1,274	76	583	1,368	—
営業利益	684	△461	34	763	530
経常利益	691	△348	202	820	520
親会社株主に帰属 する当期純利益	386	△633	△1,477	428	420

② 第2四半期 (累計)

(単位:百万円)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	4,255	1,650	2,339	2,538	2,970
売上総利益	700	△246	17	554	698
営業利益	406	△517	△259	271	392
経常利益	403	△477	△162	324	401
親会社株主に帰属する 四半期純利益	274	△472	△101	228	307

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年以降の連結(通期・第2四半期)業績推移については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

4. 2023年12月期第2四半期末配当の件

当社は、2023年12月期第2四半期末の配当金につきまして、2023年8月10日開催の取締役会にて、1株につき、5円とすることを決議しました。

なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
第2四半期末	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭
期 末	7円00銭 普通配当6円00銭 特別配当1円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	7円00銭 普通配当7円00銭 (※)
年 間	14円00銭 普通配当11円00銭 特別配当3円00銭	0円00銭	4円00銭 普通配当4円00銭	12円00銭 普通配当12円00銭	12円00銭 普通配当12円00銭 (※)

※2023年期末配当及び年間配当につきましては、2023年8月10日時点における予想額となります。

5. 下期の具体的取組



【遊園地事業】

①グリーンランド(九州)

- ◆「さのよいファイヤーカーニバル2023」(7月16日(日))
 - ・30分間で10,000発の怒涛の打上花火と、合計56チームが参加した4年ぶり開催の「さのよい踊り」コンテスト

- ◆夏イベント
 - ・「仮面ライダーギーツ サマースペシャルステージ」
(7月23日(日)・8月5日(土)、6日(日)、13日(日)、14日(月)、15日(火)、26日(土)、27日(日))

 - ・「仮面ライダーギーツ 出演俳優トークショー」(8月15日(火))

 - ・「ひろがるスカイ!プリキュアショー」(7月30(日)・8月12日(土))

 - ・「ウルトラマンブレーザーショー」(8月11(金・祝)・8月19日(土)、20日(日))

 - ・「サマーナイト打上花火ショー」(8月11(金・祝)~14日(月)の4日間)

- ◆アトラクション
 - ・今夏、人気のお化け屋敷「ホラータワー 廃校への招待状」が更に怖くなってリニューアルオープン!
 - ・大きな水しぶきを上げる、夏にピッタリのアトラクション「スプラッシュ」に新たなフォトスポット誕生!
 - ・グリーンランドの大型プール施設「ウォーターパーク」営業中! (7月22日(土)~8月31日(木))

- ◆その他のイベント
 - ・「タマホームスペシャル2023 第22回花火物語」(9月2日(土))
 - ・遊園地を舞台とした脱出ゲーム「夜の仮面(マスカレード)サーカスからの脱出」
(11月3日(金・祝)、4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日))

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

【スペシャルイベント】

- ・「JOIN ALIVE(ジョインアライブ) 2023」(7月15日(土)~7月16日(日))
- ・「彩花まつり花火大会2023」(7月23日(日))
- ・「いわみざわ公園花火大会」(8/20(日)開催予定)
- ・「タマホームスペシャル花火物語」(9月9日(土)開催予定)

【TVの人気者 ヒーロー&ヒロイン大集合】 ※8月11日以降開催分

- ・「ひろがるスカイ!プリキュア」(8月12日(土)~14日(月)・10月9日(月))
- ・「仮面ライダーギーツ&リバイスショー」(8月11日(金・祝))
- ・「王様戦隊キングオージャーショー」(8月15日(火)、16日(水))
- ・「レジェンド仮面ライダーショー」(8月27日(日)・9月3日(日))
- ・「それいけ!アンパンマンショー」(9月17日(日))
- ・「スーパーヒーローショー」(9月18日(月・祝))
- ・「ウルトラマンブレーザーショー」(9月23日(土・祝))
- ・「ワンワンと遊ぼうショー」(10月1日(日))

【その他のイベント】

- ・ダンスイベント「オータムフェスト」(10月14日(土)~10月15日(日))
- ・コスプレイベント「レイブアップデラックス」(10月22日(日))

【ゴルフ事業】

- 「グリーンランドリゾートゴルフコース」では、特色あるオープンコンペの開催に加え、36ホールを有する強みを活かし、予約枠の拡大による集客力の強化を図る
また、海外渡航制限解除に伴い、徐々に回復傾向が見られる韓国からのゴルフツアーについて、新たな送客エージェントとの契約締結により、更なる利用促進を図る
- メンバーズゴルフ場の「有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場」ならびに「久留米カントリークラブ 広川ゴルフ場」では、好調なWEB予約を活用してきめ細かいプラン販売を行うとともに、プレー料金の価格戦略に注力し、収益拡大に努めていく
- 3ゴルフ場それぞれ、自家消費型太陽光発電システムの導入を取り進め、環境への配慮意識を高めるとともに、費用削減に繋げていくことで収益性向上を図る

【ホテル事業】

ホテルブランカ・ヴェルデ

- 遊園地(プール)やゴルフ場に隣接するリゾートホテルならではの各種利用特典等の強みを活かした利用客獲得と合わせ、両ホテルが持つ経営資源の有効活用による収益性拡大に注力

【ホテルブランカ】

- ・平日期は、OTAを活用したビジネスプラン等の販売で利用客の底上げを図る
- ・夏季の中庭バーベキューや秋・冬季の鍋バイキングの利用促進により売上拡大を図る

【ホテルヴェルデ】

- ・料飲部門では、地元熊本の食材を使ったメニューやキッズメニューの充実など、幅広い層に喜ばれるメニュー展開で利用促進を図る
- ・宴会部門では、復調基調の大型団体獲得に加え、「ローストビーフ&カニ祭り」などの魅力あるイベント開催で集客を図る
- ・婚礼部門では、HPの刷新やSNSによる情報発信に加え、婚礼斡旋業者との連携強化や婚礼試食会の利用促進による利用拡大を図る

ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

- 各ホテルのターゲット層とそのニーズを的確に把握して、訴求力の高い商品開発・販売に注力する

【サンプラザ】

- ・近隣ゴルフ場と連携したゴルフプランにより国内外からの宿泊客獲得を図る
- ・地元で強みを持つランチバイキングに加え、女性客をターゲットとしたランチメニューによる集客

【北村温泉】

- ・「源泉掛け流し43度の湯」と合わせ、湯冷めしにくい強塩泉「温まりの湯」をPRして、日帰り入浴をはじめ、3世代宿泊プランなどによる利用拡大を図る

【不動産事業】

・グリーンランド遊園地周辺の社有地への新規テナント誘致に積極的に取り組み、グリーンランドリゾートエリア全体の魅力向上に努めるとともに、既存テナントにおける着実な賃貸料改定を取り進め、更なる収益基盤の強化を図る

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル(ブランカ)営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 1997年 7月 KKT住宅展示場オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2003年12月 タマホームグリーンランド営業所(住宅展示場)オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート(1棟4戸)事業開始

【土木・建設資材事業】

- ・堅調なバイオマス火力発電所への燃料投入業務の着実な受託
- ・ポゾテックやコールサンド等の建設資材の販売ならびに土木工事受注による収益の底上げ図る